

三栄商事株式会社

<http://www.sanei-trading.co.jp/>

海外取引を見据え、業務改善を原点に環境経営を展開



社屋ビル外観

- 事業内容: 工作機械、鍛圧機械、産業機械及び関連商品等の販売
- 代表者: 代表取締役 後藤 正幸 氏
- 本社所在地: 愛知県名古屋市中区東桜二丁目17番6号
- 創立年: 1950年
- 従業員数: 70名
- 認証レベル: エコステージ1 (2012年1月取得)
エコステージ2 (2014年6月取得)

主な環境活動項目

- (1) 地球温暖化対策
- (2) エコ商品・サービス
- (3) 情報公開

背景・課題

CSRを視野に入れながら、5Sの徹底からスタート

三栄商事様は、モノづくりの現場で使われる工作機械、測定器、機器商品などを扱う商社です。「お客様」「仕入先様」「社員」三者の幸せを第一に願うことが社名の由来で、社会全体の幸せを追求し、実践することに邁進してきました。企業の社会的責任が問われる昨今、同社では新創業を意識して原点に立ち返り、業務改善の基本である5Sを開始しました。その際、エコステージがISO14001の要求に準拠し、現場第一主義を貫きながらムリ・ムダ・ムラを徹底的に省けることに着目。総合マネジメントシステムを視野に入れたCSRも組み込まれ、商社という業態にも馴染みやすいと判断し、導入を決定しました。

活動内容

環境コミットメントを確立、全員参加で無理なく活動

海外取引が長い同社では、環境コミットメントの確立を重視。まず環境経営方針に「8つの行動指針」(法令順守・省エネ省資源・資源循環の促進・環境配慮購買・継続的改善・外部コミュニケーション・全社一丸・ディスクリージング)を掲げ、各階層に責任者を選任し、この行動方針をベースに目的目標を定めました。次に、その測定方法を規定し、パフォーマンスを重視した内部監査を行い、最後に経営層フォローアップを一巡させました。これを5S活動に合流させ、全員参加の流れの中で、従業員の負担を抑えながら、無理なく活動を行っていきました。

効果

CO₂ 総排出量を削減、コミュニケーション力も強化

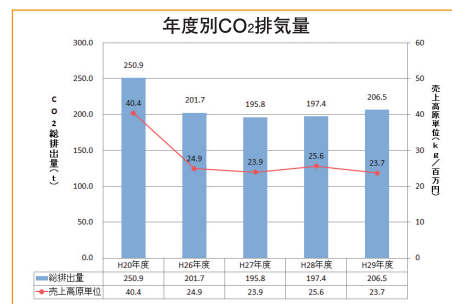
省エネルギー効果が顕著にあらわれ、平成29年度の消費エネルギーは、平成20年度比で17.6%削減を達成しました。また、資源循環改善施策として、古紙含有率の多い用紙への変更や、カーボンオフセットを付加した封筒への変更などを実施。これらの活動により、CO₂総排出量は年々削減しています。一方、定性的効果として、社屋内の整理整頓清掃が進み、目覚ましい環境改善ができました。さらに付随的な効果として、ホームページのリニューアル・ソーシャルネットワーク型の情報公開・グループウェアの強化などにより、国内外のコミュニケーションパイプの活性化を果たしています。



■モノづくりの現場を支える工作機械が主力製品



■環境管理委員会で活発に意見交換



■CO₂総排出量及び売上高原単位の推移

今後の計画

環境パフォーマンスとしては、省エネ・省資源型機械の販売増、中古機械の販売増などを取り入れ、顧客サイドの省エネ・省資源にも努めています。さらに、社会貢献パフォーマンス項目を徐々に増やし、環境マネジメントを基底とした、環境報告書の発行、BCPの策定などを徐々に進め、CSRへとマネジメントの深さと幅を広げる予定です。

担当評価員からのメッセージ

同社では、40年前から海外との取引があるため、商社として国内外でわかりやすい環境コミットメントの確立を重視し、その実現に全力を注いできました。また、環境だけでなく、当初からCSRにも積極的で、総合マネジメントシステム構築を目指して着実に進化しています。